

# 英語学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	開講曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
英語学概論	英語統語論入門Ⅰ	2	中村 太一	3	前期 火曜日 4講時	
英語学概論	英語統語論入門Ⅱ	2	中村 太一	4	後期 火曜日 4講時	
英語学基礎講読	形態論入門Ⅰ	2	島 越郎	3	前期 金曜日 1講時	
英語学基礎講読	形態論入門Ⅱ	2	島 越郎	4	後期 金曜日 1講時	
英語学各論	英語音声学入門	2	中村 嘉菜子	5	前期 火曜日 2講時	
英語解析学各論	英語学の諸問題研究 Ⅰ	2	島 越郎.中村 太一	7	前期 水曜日 2講時	
英語学講読	英語学の思考法Ⅱ	2	中村 太一	6	後期 水曜日 4講時	
英語学講読	英語学の思考法Ⅰ	2	中村 太一	5	前期 水曜日 4講時	
英語学演習	統語論入門Ⅰ	2	島 越郎	5	前期 木曜日 2講時	
英語学演習	統語論入門Ⅱ	2	島 越郎	6	後期 木曜日 2講時	
英語学演習	英語学の諸問題研究Ⅱ	2	島 越郎.中村 太一	8	後期 水曜日 2講時	

科目名：英語学概論／ English Linguistics (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

Semester : 3 単位数 : 2

担当教員：中村 太一

コード：LB32401, 科目ナンバリング：LHM-LIN201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語統語論入門 I

2. Course Title (授業題目) : Introduction to English Syntax I

3. 授業の目的と概要：英語の音声と文法に関する基本的現象が現代言語学の観点からどのように分析されるのを解説し、英語学における基本概念や論証の仕方を理解してもらおう。また、英語の歴史の変遷や他の言語との違いを解説することにより、英語という言語の普遍性と特殊性を理解してもらおう。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course is an introduction to the formal analysis of syntactic structures of English within a framework of Generative Grammar. We will also see the sound system and historical change of English.

5. 学習の到達目標：1) 英語の音声の基本的特徴を理解する。

2) 英語の文法の基本的特徴を理解する。

3) 英語の歴史の変遷と他の言語との共通点・相違点を理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students will understand three aspects of English: basic concepts of syntax, the sound system and the history and development.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：導入

第2回：英語の普遍性と特殊性

第3回：現代言語学における3つの分野：音韻論 意味論 統語論

第4回：英語音声の基本的特徴

第5回：英語の綴り字と発音

第6回：英語のリズムとイントネーション

第7回：文をつくる規則：句構造規則

第8回：句構造規則と文法

第9回：構成素について

第10回：樹形図と構造関係

第11回：構造関係に基づく文法原理

第12回：文、樹形図、文法原理の関係

第13回：品詞と歴史的变化

第14回：語彙と意味の歴史的变化

第15回：まとめと期末試験

8. 成績評価方法：

副読本の内容確認テスト (50%), 期末テスト (50%)

9. 教科書および参考書：

教科書/textbook：

毎回、講義内容に関するプリントを配布する。

Not required. Handouts are distributed for each class.

参考書/reference book：

服部範子著『入門英語音声学』研究社

堀田隆一著『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社

10. 授業時間外学習：講義内容の十分な復習に心がけること。

副読本の内容を計画的に自己学習すること。

Students are required to review each class using handouts.

Students are also expected to read the reference books in advance.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

副読本の内容確認テストについては初回の講義で説明する。

Details on the short tests will be given in the first lecture.

科目名：英語学概論／ English Linguistics (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB42401, 科目ナンバリング：LHM-LIN201J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語統語論入門 II

2. Course Title (授業題目)：Introduction to English Syntax II

3. 授業の目的と概要：英語の音声と文法に関する基本的現象が現代言語学の観点からどのように分析されるのを解説し、英語学における基本概念や論証の仕方を理解してもらう。また、英語の歴史の変遷や他の言語との違いを解説することにより、英語という言語の普遍性と特殊性を理解してもらう。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is a continuation of Introduction of English Syntax I, focusing on the formal analysis of syntactic structures of English within a framework of Generative Grammar. We will also see the sound system and historical change of English.

5. 学習の到達目標：1) 英語の音声の基本的特徴を理解する。

2) 英語の文法の基本的特徴を理解する。

3) 英語の歴史の変遷と他の言語との共通点・相違点を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand three aspects of English: basic concepts of syntax, the sound system and the history and development.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：導入

第2回：単語の音声・意味情報を記載するレキシコン

第3回：音韻・意味素性、主要部、句について

第4回：動詞と目的語の語順：音韻的要因と歴史的变化

第5回：動詞と修飾語の語順：音韻的要因と歴史的变化

第6回：複文の構造（1）：補文標識の役割

第7回：複文の構造（2）：定形節と非定形節の違い

第8回：複文構造の歴史的变化

第9回：発音されない代名詞と歴史的变化

第10回：名詞句の構造と歴史的变化

第11回：句構造規則から X 理論へ

第12回：Wh 疑問文における移動操作

第13回：Wh 疑問文の音韻的特徴と歴史的变化

第14回：英語とその他の言語に見られる Wh 疑問文の共通点・相違点

第15回：まとめと期末試験

8. 成績評価方法：

副読本の内容確認テスト（50%）、期末テスト（50%）

9. 教科書および参考書：

教科書/textbook：

毎回、講義内容に関するプリントを配布する。

Not required. Handouts are distributed for each class.

参考書/reference book：

服部範子著『入門英語音声学』研究社

堀田隆一著『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』研究社

10. 授業時間外学習：講義内容の十分な復習に心がけること。

副読本の内容を計画的に自己学習すること。

Students are required to review each class using handouts.

Students are also expected to read the reference books in advance.

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

副読本の内容確認テストについては初回の講義で説明する。

Details on the short tests will be given in the first lecture.

科目名：英語学基礎講読／ English Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 金曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB35101, 科目ナンバリング：LHM-LIN207J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：形態論入門 I
2. Course Title (授業題目)：Introduction to Morphology I
3. 授業の目的と概要：自然言語で用いられている語の成り立ちを分析する形態論の入門書を読み、形態論の基本的考え方を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides an intensive introduction to the study of word formation known as morphology by reading a textbook showing how to find and analyze morphological data.
5. 学習の到達目標：語形成に関する言語現象を実際に分析することにより、形態論に関する基本的な概念や用語を身につける。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will learn basic concepts and terminology concerning morphological theory through hands-on activities designed to encourage them to gather and analyze morphological data.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1 ガイダンス：What is Morphology?
  - 2 Words, Dictionaries, and the Mental Lexicon (1)
  - 3 Words, Dictionaries, and the Mental Lexicon (2)
  - 4 Lexeme Formation: The Familiar (1)
  - 5 Lexeme Formation: The Familiar (2)
  - 6 Lexeme Formation: The Familiar (3)
  - 7 Lexeme Formation: The Familiar (4)
  - 8 Productivity and Creativity (1)
  - 9 Productivity and Creativity (2)
  - 10 Productivity and Creativity (3)
  - 11 Productivity and Creativity (4)
  - 12 Lexeme Formation: Further Afield (1)
  - 13 Lexeme Formation: Further Afield (2)
  - 14 Lexeme Formation: Further Afield (3)
  - 15 Lexeme Formation: Further Afield (4)
8. 成績評価方法：

学期末レポート
9. 教科書および参考書：

Rochelle Lieber (2022) Introducing Morphology, Cambridge University
10. 授業時間外学習：予習では、自分のわからない箇所を明らかにした上で授業に臨む。復習では、授業で学んだ考え方を具体的な言語現象に当てはめて考えてみる。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：英語学基礎講読／ English Linguistics (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 金曜日 1 講時

Semester：4 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB45102, 科目ナンバリング：LHM-LIN207J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：形態論入門 II
2. Course Title (授業題目)：Introduction to Morphology II
3. 授業の目的と概要：前期に引き続き、自然言語で用いられている語の成り立ちを分析する形態論の入門書を読み、形態論の基本的考え方を学ぶ。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course, which is a continuation of Introduction to Morphology I from the spring semester, provides an intensive introduction to the study of word formation known as morphology by reading a textbook showing how to find and analyze morphological data.
5. 学習の到達目標：語形成に関する言語現象を実際に分析することにより、形態論に関する基本的な概念や用語を身につける。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will learn basic concepts and terminology concerning morphological theory through hands-on activities designed to encourage them to gather and analyze morphological data.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1 ガイダンス
  - 2 Inflection (1)
  - 3 Inflection (2)
  - 4 Inflection (3)
  - 5 Typology (1)
  - 6 Typology (2)
  - 7 Typology (3)
  - 8 Words and Sentences: The Interface between Morphology and Syntax (1)
  - 9 Words and Sentences: The Interface between Morphology and Syntax (2)
  - 10 Words and Sentences: The Interface between Morphology and Syntax (3)
  - 11 Sounds and Shapes: The Interface between Morphology and Phonology (1)
  - 12 Sounds and Shapes: The Interface between Morphology and Phonology (2)
  - 13 Sounds and Shapes: The Interface between Morphology and Phonology (3)
  - 14 Theoretical Challenges (1)
  - 15 Theoretical Challenges (2)
8. 成績評価方法：

学期末レポート
9. 教科書および参考書：

Rochelle Lieber (2022) Introducing Morphology, Cambridge University
10. 授業時間外学習：予習では、自分のわからない箇所を明らかにした上で授業に臨む。  
復習では、授業で学んだ考え方を具体的な言語現象に当てはめて考えてみる。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：英語学各論／ English Linguistics (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 2講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：中村 嘉菜子

コード：LB52203, 科目ナンバリング：LHM-LIN301J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語音声学入門

2. Course Title (授業題目)：English Phonetics

3. 授業の目的と概要：この授業で受講生は、音声学の基礎を学ぶ。主に、英語と日本語の音声の特徴を観察、分析することで、音声学の観点から英語の発音についてより理解を深める。さらに、Praat などを用いて自分の音声を録音したり分析したりすることで、音声学の研究手法を体験し、音声を対象とした研究の目的と意義を理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：In this course, students will learn the basics of phonetics. Mainly, students are expected to better understand English pronunciation from a phonetics perspective by observing and analyzing the characteristics of English and Japanese speech sounds. In addition, by recording and analyzing their speech using Praat, students will experience the research methods of phonetics and understand the purpose and importance of research on speech.

5. 学習の到達目標：(1) 音声学の基礎的な考え方や分析方法について理解し、具体例を挙げて説明できるようになる。

(2) 英語の音声に見られる特徴や、音の分類について理解し、具体例を挙げて説明できるようになる。

(3) 日本語と英語の音声の違いと共通点について理解し、具体例を挙げて説明できるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：(1) Understand the basic concepts and analytical methods of phonetics, and be able to explain them with specific examples.

(2) To understand the characteristics of English speech and the classification of sounds, and to be able to explain them with speci

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業内容

本授業は、担当講師による講義と、受講者参加型の活動で構成される。授業内容とスケジュールは以下の通りである。各回における教科書の範囲については授業内で指示する。なお、受講生の理解度や興味にもとづいて内容を変更することある。

1. 授業内容の説明、受講生による自己紹介、発表担当箇所の割振り
2. 第1章 1回目 音声学での音の区切り方、調音（声帯・軟口蓋の役割）
3. 第1章 2回目 VPM ラベル
4. 第2章 1回目 英語の子音群
5. 第2章 2回目 音素と異音
6. 第3章 1回目 つづりと発音
7. 第3章 2回目 音節と強勢1
8. 第3章 3回目 音節と強勢2
9. 第4章 イントネーション核の置き方、発音練習
10. 第5章 英語のリズムとフット、発音練習
11. Praat の使い方
12. Praat 実技1
13. Praat 実技2
14. Praat 実技3
15. 総括、レポート発表

8. 成績評価方法：

1. 授業参加 30%
2. 授業内発表 20%
3. 期末レポートと発表 50%

9. 教科書および参考書：

教科書/textbook：入門英語音声学 服部範子著 研究者 2021年

10. 授業時間外学習：教科書の該当範囲を予習すること。

Students are expected to read the textbook in advance.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

授業内で音声分析用ソフトウェアをダウンロードする。

Students will need to download the Praat software for speech analysis.

科目名：英語解析学各論／ Analytical Study of English

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：7 単位数：2

担当教員：島 越郎, 中村 太一

コード：LB73201, 科目ナンバリング：LHM-LIN302J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の諸問題研究 I

2. Course Title (授業題目)：Topics in English Linguistics I

3. 授業の目的と概要：英語学研究の最新の動向を把握し、卒業論文作成の進展に役立てることを目的とする。授業は次の3部から構成される。

1) 最新の研究論文を担当者がオーラル・レポートする。

2) 討論者がコメントを加える。

3) 授業の参加者全員でディスカッションを行う。

授業に参加する者は、前もって論文に目を通し、積極的にディスカッションに参加することが望まれる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to discuss current issues in linguistic theory.

Students will participate fully in the classroom discussion about a reported paper.

5. 学習の到達目標：①英語学研究の最新動向を把握する

②研究論文の実践的作成法が身に付く

③効果的プレゼンテーション力が身に付く

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of the course is to develop the background needed for independent research and acquire skills for presentation.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1) Introduction

2) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

3) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

4) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

5) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

6) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

7) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

8) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

9) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

10) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

11) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

12) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

13) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

14) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

15) Summary

8. 成績評価方法：

期末レポート

9. 教科書および参考書：

取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知する。参考文献・参考書は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知するので、読んだ上で参加すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：英語学講読／ English Linguistics (Reading)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

semester：6 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB63402, 科目ナンバリング：LHM-LIN309J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の思考法 II
2. Course Title (授業題目)：Fundamental Perspectives in English Linguistics II
3. 授業の目的と概要：英語学関連の英語文献の講読を通して、文献を正確に読む能力を育成するとともに、生成文法統語論の基本的な概念の理解を目指す。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability to read English texts with accuracy and introduce students to basic concepts of generative syntax, through intensive reading of English texts on English linguistics.
5. 学習の到達目標：①生成文法統語論の思考法や研究方法論を理解する  
②批判的に英文を読む力を身につける
6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand the basic concepts and methodology of generative syntax and develop the ability to read research papers from critical viewpoints.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
この授業は担当教員による講義、担当者による講読発表とディスカッションから構成される。内容とスケジュールは次の通りである。

第 1 回：ガイダンス

第 2 回：導入

第 3 回：項交替

第 4 回：項交替の諸問題

第 5 回：項交替へのアプローチ (1)：変形規則による分析

第 6 回：項交替へのアプローチ (2)：語彙主義的分析と構文文法に基づく分析

第 7 回：項交替へのアプローチ (3)：反語彙主義的分析と機能主義的分析

第 8 回：与格交替 (1)：交替形間に見られる意味的な違い

第 9 回：与格交替 (2)：動詞の意味の違い

第 10 回：与格交替 (3)：交替形間に見られる機能的な違い

第 11 回：使役交替 (1)：他動詞形と自動詞形の意味の重なり

第 12 回：使役交替 (2)：被行為者項に見られる意味的制限

第 13 回：使役交替 (3)：原因項に見られる意味的制限

第 14 回：使役交替 (4)：交替形間に見られる語用論的な違い

第 15 回：まとめ

8. 成績評価方法：

授業における発表とディスカッションへの参加 (40%)，期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Levin, Beth (2015) "Semantics and Pragmatics of Argument Alternations," Annual Review of Linguistics 1: 63-83. プリント使用。

10. 授業時間外学習：事前に該当箇所を予習し、問題点や不明な点を整理する (2 時間)。授業後は、内容を確認し問題点について理解を深める (2 時間)。

The students are required to read the assigned part of the textbook in advance and prepare for in-class discussion and presentation. They are also required to review each class to have a better understanding of the topics discussed in class and in the textbook.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：英語学講読／ English Linguistics (Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：中村 太一

コード：LB53403, 科目ナンバリング：LHM-LIN309J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の思考法 I

2. Course Title (授業題目)：Fundamental Perspectives in English Linguistics I

3. 授業の目的と概要：英語学関連の英語文献の講読を通して、文献を正確に読む能力を育成するとともに、生成文法統語論の基本的な概念の理解を目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability to read English texts with accuracy and introduce students to basic concepts of generative syntax, through intensive reading of English texts on English linguistics.

5. 学習の到達目標：①生成文法統語論の思考法や研究方法論を理解する

②批判的に英文を読む力を身につける

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students will understand the basic concepts and methodology of generative syntax and develop the ability to read research papers from critical viewpoints.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この授業は担当教員による講義、担当者による講読発表とディスカッションから構成される。内容とスケジュールは次の通りである。

第1回：ガイダンス

第2回：導入

第3回：生成言語学の方法論

第4回：長距離依存関係

第5回：長距離依存関係と階層構造(1)：構成素統御

第6回：長距離依存関係と階層構造(2)：階層構造の精緻化

第7回：長距離依存関係の類型論(1)：主要部と句の移動

第8回：長距離依存関係の類型論(2)：連続循環的移動

第9回：長距離依存関係の類型論(3)：A 移動と A-bar 移動

第10回：長距離依存関係の類型論(4)：接辞繰り下げと非頭在的移動

第11回：長距離依存関係の類型論(5)：束縛関係

第12回：長距離依存関係の類型論(6)：移動の局所性

第13回：空所の類型論(1)：繰り上げとコントロール

第14回：空所の類型論(2)：省略

第15回：まとめ

8. 成績評価方法：

授業における発表とディスカッションへの参加 (40%)，期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Cheng, Lisa Lai-Shen and James Griffiths (2021) "The Enduring Discoveries of Generative Syntax," in A Companion to Chomsky, ed. by Nicholas Allot, Terje Lohndal and Georges Rey, pp. 52-65, Wiley-Blackwell. プリント使用。

10. 授業時間外学習：事前に該当箇所を予習し、問題点や不明な点を整理する (2 時間)。授業後は、内容を確認し問題点について理解を深める (2 時間)。

The students are required to read the assigned part of the textbook in advance and prepare for in-class discussion and presentation. They are also required to review each class to have a better understanding of the topics discussed in class and in the textbook.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB54208, 科目ナンバリング：LHM-LIN310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：統語論入門 I

2. Course Title (授業題目)：An Introduction to Syntax I

3. 授業の目的と概要：生成文法による自然言語の分析に関する入門書を用い、語や文がどのような概念により分析されるのかを学ぶ。授業は担当者によるオーラル・レポートと、ディスカッションによってすすめる。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course provides an intensive introduction to how various words and sentences are analyzed in terms of key notions of the approach to the study of language called generative grammar. This course mainly consists of oral report by students and discussion by all of the participants.

5. 学習の到達目標：①生成文法理論による英語分析の概要を把握する。

②比較的多量の英文を正確に読みこなせるようになる。

③プレゼンテーションの実践的手順を把握する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will understand how to analyze English sentences by the methodology of current generative grammar, develop English language skills necessary to precisely understand a fairly large amount of English text, and develop presentational skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業内容とスケジュールは以下の通りである。

1 ガイダンス

2 Morphology: Starting with Words (1)

3 Morphology: Starting with Words (2)

4 Syntactic Analysis Introduced (1)

5 Syntactic Analysis Introduced (2)

6 Syntactic Analysis Introduced (3)

7 Clauses (1)

8 Clauses (2)

9 Other Phrases: A First Glance (1)

10 Other Phrases: A First Glance (2)

11 Other Phrases: A First Glance (3)

12 X-bar Theory and the Format of Lexical Entries (1)

13 X-bar Theory and the Format of Lexical Entries (2)

14 X-bar Theory and the Format of Lexical Entries (3)

15 X-bar Theory and the Format of Lexical Entries (4)

8. 成績評価方法：

授業における発表および討論参加 (40%)

期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Dominique Sportiche, Hilda Koopman and Edward Stabler (2014) An Introduction to Syntactic Analysis and Theory, Wiley Blackwell.

10. 授業時間外学習：授業に臨む前に、該当箇所を予習し口頭発表後のディスカッションに積極的に参加できるように準備しておくこと。授業後は、授業内容を確認し疑問点を解消しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

前年度までに英語学概論を履修済みであることが望ましい。

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：島 越郎

コード：LB64205, 科目ナンバリング：LHM-LIN310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：統語論入門 II

2. Course Title (授業題目)：An Introduction to Syntax II

3. 授業の目的と概要：前期に引き続き、生成文法による自然言語の分析に関する入門書を読み、語や文がどのような概念により分析されるのかを学ぶ。授業は担当者によるオーラル・レポートと、ディスカッションによってすすめる。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course, which is a continuation of An Introduction to Syntactic and Morphological Structures I from the spring, provides an intensive introduction to how various words and sentences are analyzed in terms of key notions of the approach to the study of language called generative grammar. This course mainly consists of oral report by students and discussion by all of the participants.

5. 学習の到達目標：①生成文法理論による英語分析の概要を把握する。

②比較的多量の英文を正確に読みこなせるようになる。

③プレゼンテーションの実践的手順を把握する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：Students will understand how to analyze English sentences by the methodology of current generative grammar, develop English language skills necessary to precisely understand a fairly large amount of English text, and develop presentational skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業内容とスケジュールは以下の通りである。

1 ガイダンス

2 Binding and the Hierarchical Nature of Phrase Structure (1)

3 Binding and the Hierarchical Nature of Phrase Structure (2)

4 Apparent Violations of Locality of Selection (1)

5 Apparent Violations of Locality of Selection (2)

6 Apparent Violations of Locality of Selection (3)

7 Infinitival Complements: Raising and Control (1)

8 Infinitival Complements: Raising and Control (2)

9 Wh-questions: Wh-movement and Locality (1)

10 Wh-questions: Wh-movement and Locality (2)

11 Wh-questions: Wh-movement and Locality (3)

12 Wh-questions: Wh-movement and Locality (4)

13 Probing Structures (1)

14 Probing Structures (2)

15 Probing Structures (3)

8. 成績評価方法：

授業における発表および討論参加 (40%)

期末レポート (60%)

9. 教科書および参考書：

テキスト：Dominique Sportiche, Hilda Koopman and Edward Stabler (2014) An Introduction to Syntactic Analysis and Theory, Wiley Blackwell.

10. 授業時間外学習：授業に臨む前に、該当箇所を予習し口頭発表後のディスカッションに積極的に参加できるように準備しておくこと。授業後は、授業内容を確認し疑問点を解消しておくこと。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

前期に英語学演習を履修済みであることが望ましい。

科目名：英語学演習／ English Linguistics (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：8 単位数：2

担当教員：島 越郎, 中村 太一

コード：LB83201, 科目ナンバリング：LHM-LIN310J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：英語学の諸問題研究 II

2. Course Title (授業題目)：Topics in English Linguistics II

3. 授業の目的と概要：英語学研究の最新の動向を把握し、卒業論文作成の進展に役立てることを目的とする。授業は次の 3 部から構成される。

1) 最新の研究論文を担当者がオーラル・レポートする。

2) 討論者がコメントを加える。

3) 授業の参加者全員でディスカッションを行う。

授業に参加する者は、前もって論文に目を通し、積極的にディスカッションに参加することが望まれる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to discuss current issues in linguistic theory.

Students will participate fully in the classroom discussion about a reported paper.

5. 学習の到達目標：①英語学研究の最新動向を把握する

②研究論文の実践的作成法が身に付く

③効果的プレゼンテーション力が身に付く

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of the course is to develop the background needed for independent research and acquire skills for presentation.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1) Introduction

2) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

3) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

4) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

5) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

6) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

7) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

8) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

9) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

10) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

11) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

12) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

13) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

14) Oral Report and Discussion of Current Issues in Linguistic Theory

15) Summary

8. 成績評価方法：

期末レポート

9. 教科書および参考書：

取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知する。参考文献・参考書は随時紹介する。

10. 授業時間外学習：取り上げる論文は英語学研究室ホームページで前もって通知するので、読んだ上で参加すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし